

(公財)京都市ユースサービス協会	中期経営計画 (平成28年度～平成29年度)
------------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散又は統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本の方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本の方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	「京都市ユースアクションプラン」を推進する中核機関として, 京都市とともに当該計画に基づく施策を推進していく。市内7箇所を設置された青少年活動センターの設置区域にとどまらず, 京都市域の全ての青少年を対象とした事業を展開していく。また, 「子ども・若者総合支援事業」並びに「京都若者サポートステーション」事業との連携を図り, サービスの充実を目指す。また, 近年では, 生活困窮家庭の学習支援事業の受託もあり, 若者が社会の中で直面する様々な困難の解決の一助になるような活動を協会全体となって取り組む。
財務面	新たな財源確保はもとより, 経常経費の見直しを行う。事業運営や施設運営については, 個別コストを見直し, 複合的・総合的にコスト削減ができないか再検討する。そのうえで, 特定費用準備資金の活用による将来への負担の節減への投資, 職員のコスト意識の醸成, 諸規程の見直しによる給与制度の検討などを行う。
組織面	公益法人として社会的信頼を得る事業を展開するとともに, 青少年の育成に携わる専門家集団として青少年に親しみを持たれ, 信頼され, 地域に愛される施設・組織運営を行う。また, 組織の若返りの時期を迎え, ノウハウの継承が滞りなく行われる組織体制を組む。
その他	公益財団法人として適切な情報公開を行うとともに, KES環境マネジメントシステム・スタンダードの更新を行う。

3 基本的方針を実現するための具体的取組(2年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
 ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
 ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標1 「青少年活動センターの利用促進」

取組内容	青少年のニーズと社会的課題の多様化にかなった事業開発に取り組むとともに、各青少年活動センターの認知、ユースサービスの更なるPRを図るため支援者・協力者の拡大、施設利用者の増加に取り組む。また、固有事業テーマを見直し、新たなニーズに合わせた事業展開を模索する。					
○指標1	施設利用者数					
採用理由	来館者数を青少年の施設や実施事業に対する満足度と捉え設定					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：千人)
	—	—	—	490	500	
実現方法	市内7箇所の子青少年活動センターの周辺の中学校・高校・大学等にパンフレットやちらしを配布するほか、ホームページやSNSによる発信を強化し、施設の認知度を高めていく。					
○指標2	施設稼働率					
採用理由	青少年活動センター施設の有効活用度を測る指標として設定					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：%)
	—	—	—	66.0	67.3	
実現方法	指標1と同様に利用者向けの発信を強化するとともに、青少年の利用の少ない午前中等の育成団体、一般等利用の促進、実施事業を充実させることで空き部屋の活用を図っていく。					

目標2 「青少年の相談対応の充実」

取組内容	青少年の幅広いニーズに応じられる相談拠点や情報拠点として施設展開の拡充を図るとともに、安心して自分を表現できる場として「青少年の居場所づくりを支える空間」としての活用を図る。					
○指標	青少年に対する相談事業					
採用理由	青少年の持つ課題の掌握度合を相談件数と捉え設定					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：回)
	—	—	—	2,400	2,400	
実現方法	子ども・若者の育成支援における中核的な役割を全青少年活動センターで担えるよう取組を進め、広報の強化をするとともに、利用者に対して日常的な関わりの中で、相談できることを周知していく。					

(2)財務に関する取組

目標1 「事業収益等の確保」						
取組内容	収入のほとんどが受託料収入であるが、安定した組織運営・事業展開を進めていくために、経常経費の見直しとともに、新たな財源が必要である。そのために、多様な事業収益の確保に取り組む。					
○指標	事業収益等（受託料収入を除く）					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：千円)
	—	—	—	11,000	11,000	

目標2 「寄付金・助成金等の確保」						
取組内容	公益財団法人の信頼性や寄付税制の優遇等の利点を生かし民間助成金の活用、協賛金、寄付、賛助会員制度など、多様な財源調達の構築を模索する取組を行う。					
○指標	補助金・助成金・寄付金等の確保（京都市関係を除く）					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：千円)
	—	—	—	2,650	2,650	

(3)組織に関する取組

目標 「運営体制の見直し」						
取組内容	「ユースサービスの理念」を基本に据え、青少年と向き合う組織風土を築くとともに、組織自身の若返りと女性管理職の登用など新しい体制づくりを行う。 合わせて適正な人員配置を行いながら、部長級以上の管理職、役員を含む執行体制づくりを進めていく。					
○指標	職員数					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：人)
	—	—	—	55	55	

(4)その他の取組

目標 「環境に配慮した取組の推進」						
取組内容	信頼性の獲得とともに、持続可能な社会の構築のために環境に配慮した事業運営・施設運営に取り組む。 また、活動に利用者や地域を巻き込みながら進め、取組を外部へ発信していく。					
○指標	KES（京都 環境マネジメント スタンダード）の認証取得					(単位：—)
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	
	—	—	—	更新	更新	